

シニアの挑戦 !

国際協力の現場を語る

JICA (ジャイカ：国際協力機構) は、開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持ったシニア (40 歳～69 歳) を途上国に「シニア海外ボランティア」として派遣しています。この人達はシニアならではの、海外旅行などでの体験とは違ったいろいろな体験をしてきています。そんな話題も含めて体験を語って頂きます。

日 時：毎月第 3 水曜日 15 時 30 分～17 時
会 場：JICA 横浜 1 階会議室
会 費：無料 (どなたでも自由に参加出来ます)
主 催：NPO「シニアボランティア経験を活かす会」
後 援：JICA 横浜
問合せ先：
横浜市中区新港 2-3-1 JICA 横浜 3 階 国際協力連絡室内
シニアボランティア経験を活かす会 神奈川分科会
Fax:045-663-3263 担当：白井道雄 (045 - 891-5490)
E メール：jicasvob@kme.biglobe.ne.jp



赴任国 (講師名)		「タイトル」 講演概要
10 月 21 日 (水) コロンビア (石井俊明)		「抱擁とバイレ、そして爽やかなアンデス高原」 コロンビアと聞くと、ゲリラ、内戦、麻薬、といった言葉ばかりを思い浮かべていませんか？ しかしそれでは少々短絡的過ぎます。豊かな自然に囲まれ、人々は開放的で濃密な人間関係を築き、週末の夜の集まりでは「バイラモス (踊ろう) !」と声を掛け合います。
11 月 18 日 (水) ヨルダン (村田威雄)		「ドミニカ共和国およびヨルダンでの計量指導と生活体験」 カリブ海のドミニカ共和国と砂漠の国ヨルダンを紹介します。ドミニカ(共) の陽気な人々と美しい自然、ヨルダンのもてなしの心豊かな人と敬虔なムスリムそして厳しい自然は、世界の多様性を教えてくれます。計測技術の大切さにも触れます。
12 月 16 日 (水) ブラジル (山田史子)		「O BRASIL! 100 周年を迎える日系移民」 BRASIL 移民の多くは、親皇室で、鳥居や和太鼓、カラオケなどが大好き。和食作りも上手で、和食に不自由をしたことはない。パイナップル、マンゴ、柿も手に入る。 日本語離れしてきているが夜学に熱心に通う年配の学生もいる。
1 月 20 日 (水) モンゴル (岡田信男)		「覗き見たモンゴル」 2 年間、モンゴル国建築都市計画省に勤務しました。モンゴル全域の公共建築物の計画、建設を統括管理する省です。勤務の傍ら、主要都市への出張、観光地などへの旅行などをしました。少ない体験ですが、日本では報道されていない、垣間見たモンゴルの一部をお伝えします。
2 月 17 日 (水) インドネシア (工藤 巖)		「インドネシアにおける農産品開発輸入について」 1. なぜランポン州の餌用トウモロコシの開発輸入は失敗したか。 2. なぜスラウエシ島のコーヒーの開発輸入は成功したか。 二つの明暗経営を解説します。